

おくの義務教育学校北校舎跡地の利用に関するサウンディング型市場調査 実施結果概要

令和7年7月11日

牛久市 経営企画部 政策企画課

1 調査の目的

牛久市では、奥野地区に学校を存続させるため、小規模特認校制度の活用と特色ある教育活動を行うことで、児童・生徒数を増やす政策を行い、奥野地区以外の地域から児童生徒の通学を可能とし、その後も様々な取り組みを行いましたが、牛久第二中学校が、県南地域で一番小さな学校となったことなどから、さらに一歩進んだ取り組みとして、奥野小学校と牛久第二中学校を一つの学校として、1年生から9年生までの児童・生徒による「おくの義務教育学校」を令和2年4月1日に開校しました。

その後、おくの義務教育学校北校舎（旧奥野小学校）及び南校舎（旧牛久第二中学校）の統合を決定し、現在の南校舎の敷地において一体型校舎の整備を進め、令和7年度開校の運びとなりました。

このような状況を踏まえ、本市におきましては、これまで活用してきた歴史ある「おくの義務教育学校北校舎」の跡地利用について、地域を活性化させるという観点から、重要な課題として捉え、民間事業者の皆様から、おくの義務教育学校跡地（校舎、体育館、グラウンドなど）の市場性の有無や活用アイデアなどを調査し、その有用性を把握するため、サウンディング型市場調査を実施するものです。

2 スケジュール

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| (1) 実施要領の公表 | 令和7年4月21日（月） |
| (2) 現地見学・説明会の参加受付 | 令和7年4月21日（月）～5月2日（金） |
| (3) 現地見学・説明会の開催 | 令和7年5月20日（火）、5月21日（水） |
| (4) サウンディングの参加受付 | 令和7年4月21日（月）～5月30日（金） |
| (5) サウンディングの実施 | 令和7年6月9日（月）～13日（金） |
| (6) サウンディング結果概要公表 | 令和7年7月11日（金） |

3 サウンディングの参加者

(1) 現地見学・説明会の参加者

現地見学・説明会の参加はありませんでした。

(2) サウンディング調査の参加者

(製造・販売業) 1社

(土木建築サービス業) 1社

(水産・養殖業) 1社

(芸術家業) 1社

(合計) 4社

4 サウンディング結果の概要

提案者の業種	製造・販売業
活用のアイデア	校庭・プール等に系統用蓄電池を設置し、蓄電・売電事業を行う
地域への貢献に対する提案	校舎部分の利用は、地域住民の要望（憩いの場やリモートワーク施設の整備等）に可能な限り沿い、全体の改修費用の中で検討する。

提案者の業種	土木建築サービス業
活用のアイデア	ドローンスクールの設立、短期合宿所施設の整備
地域への貢献に対する提案	ドローンサッカー等のスポーツによりドローンの魅力を伝えること、市民向け無料見学会等のイベント、運営スタッフ等の地域での募集。

提案者の業種	水産・養殖業
活用のアイデア	プールに釣り場を設け、釣りを通して市民が集う場を整備
地域への貢献に対する提案	小さな子供連れ家族も安心して遊べる子育て世代の新たなレジャースポットとなること。地域での雇用促進。効率的な除草・維持管理。

提案者の業種	芸術家業
活用のアイデア	子どもの居場所づくりとしてのアート教育、アーティスト支援等
地域への貢献に対する提案	不登校の子どもたち等を対象としたアートによる新たな居場所、体験場所の提供。芸術性のある場を通した活気あふれる場所づくり。

5 サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングにより、地域への貢献に対する提案を含めた、様々な事業提案をいただきました。また、今回のサウンディング調査期間終了後も、他の民間事業者から提案をいただいております。

今後、これらの調査結果を踏まえて、公募の可否を含めた今後の進め方を検討してまいります。